

より豊かな未来のため、
日本の農林水産業の“いま”を調査する



農林水産統計調査 専門調査員

専門調査員とは

- ・農畜産物の生産コストなど、経営に関して農家から聞き取って把握する
 - ・水稻の生産状況などについて、ほ場に出向いて把握する
- などの業務があり、現場でのコミュニケーション力を活かせる、非常にやりがいのある仕事です。
任命期間中は、**非常勤の一般職の国家公務員**となります。

Point 1 ライフスタイルに合わせて働き方を選ぶ

毎日決まった時間に、決まった業務を行う必要はありません。調査対象となる農家や作物に応じて、業務を行う期間や時間が異なります。このため、複数の仕事に同時に従事する「マルチワーカー」や「二地域居住」の実践者など、様々なライフスタイルに応じたご活躍が可能です。

Point 2 地域の農業者と交流・つながることができる

調査対象である農家とコミュニケーションしながら、調査を進めていきます。このため、地域農業についての知識が深まるとともに、地域の農家との交流やつながりができ、地域との関わりに欠かせない人間関係を構築するきっかけとすることができます。

Point 3 農業の知識がなくても大丈夫

調査や農業の基本的知識について習得できる基礎的な研修、調査業務のスキルアップ研修を実施しています。

また、業務の実施に当たっては、経験豊富な農林水産省職員によるサポートも行います。

VOICE 01

経営統計専門調査員 4年目
Aさん(40代・女性)・専業主婦



子育て中ということもあり、時間を調整しながら自分のペースで調査ができるので、この仕事を担当できて良かったと思います。

VOICE 02

生産統計専門調査員 3年目
Bさん(60代・男性)・自営業



現地に出向いての調査は、普段行くことのない場所に赴くことができ、新たな発見をすることもあり、やりがいのある仕事だと思います。

【参考】令和6年4月現在の専門調査員数

1,030人（全国）

農業の知識がなかった方を含め、幅広い方が活躍されています。

